



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 日本電子株式会社

上場取引所 東

コード番号 6951 URL <http://www.jeol.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗原 権右衛門

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 経営戦略室長 (氏名) 大井 泉

TEL 042(543)1111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	40,699	8.4	1,311		963		731	
29年3月期第2四半期	44,436	4.5	863		1,683		2,567	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 92百万円 (%) 29年3月期第2四半期 3,713百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	7.57	
29年3月期第2四半期	26.57	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	107,836	32,038	29.7	331.56
29年3月期	109,045	32,284	29.6	334.11

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 32,038百万円 29年3月期 32,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		3.50		3.50	7.00
30年3月期		3.50			
30年3月期(予想)				3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	5.3	3,000	44.5	2,700	56.6	1,400	134.9	14.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	97,715,600 株	29年3月期	97,715,600 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	1,086,224 株	29年3月期	1,085,824 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	96,629,459 株	29年3月期2Q	96,631,842 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、当社の取り巻く経済環境、市場の動向、為替レートの変動など、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成29年11月29日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。第2四半期決算補足説明資料は、第2四半期決算説明会開催日後に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、米国の金融政策の動向や、好調に推移してきた中国経済の先行き、さらには北朝鮮情勢の緊迫化などの不透明感はあるものの、企業業績の改善、所得・雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移してまいりました。海外におきましては、欧米では個人消費や設備投資が緩やかに増加し、緩やかな回復基調が継続しました。新興国では、中国・韓国をはじめとするアジア地域で電子産業分野の設備投資が拡大するなど、全世界的に景気回復によるプラス成長となっています。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画「Triangle Plan」（平成28年度～平成30年度）に掲げる重点戦略を強力に推進し、企業価値の向上および経営基盤の強化を図るとともに受注・売上の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は40,699百万円（前年同期比8.4%減）となりました。損益面におきましては、営業損失は1,311百万円（前年同期は営業損失863百万円）、経常損失は963百万円（前年同期は経常損失1,683百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は731百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2,567百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 理科学・計測機器事業

電子顕微鏡への引き合いは引き続き好調であり、材料・医学・生物分野における研究開発から品質管理等の幅広い分野からの要求に応えました。受注は好調に推移しましたが、下期に売上が集中する見通しであり売上は減少しました。

この結果、当事業の売上高は26,831百万円（前年同期比 7.7%減）となりました。

② 産業機器事業

電子ビーム描画装置および電子ビーム蒸着用電子銃・電源について、受注は好調に推移しましたが、下期に売上が集中する見通しであり売上は減少しました。

この結果、当事業の売上高は5,307百万円（前年同期比 13.0%減）となりました。

③ 医用機器事業

国内向け生化学自動分析装置およびOEM供給先である富士レビオ向けの免疫分析装置の売上が好調に推移しました。一方、海外はOEM供給先であるシーメンスからの受注・売上が低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は8,560百万円（前年同期比 7.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から1,208百万円減少し107,836百万円となりました。主なものとしては、現金及び預金が1,352百万円、受取手形及び売掛金が5,075百万円減少し、たな卸資産が5,986百万円増加しております。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から962百万円減少し75,798百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が617百万円、前受金が1,711百万円増加し、短期借入金が2,468百万円、長期借入金が1,403百万円減少したことによるものであります。

一方、当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、その他有価証券評価差額金は増加したものの利益剰余金の減少に伴い32,038百万円となりました。以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末から0.1ポイント増加し29.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、8,310百万円となり、前連結会計年度末より1,110百万円減少しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は1,369百万円（前年同期は2,281百万円の資金の減少）となりました。これは主にたな卸資産の増加があったものの、売上債権の減少および前受金の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金の増加は782百万円（前年同期は704百万円の資金の減少）となりました。これは主に関係会社株式の売却による収入等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は4,385百万円（前年同期は759百万円の資金の減少）となりました。これは主に借入金の減少による支出等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表しました業績予想に変更はございません。

なお、当社の売上・利益は第4四半期に集中する傾向があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,165	8,812
受取手形及び売掛金	26,779	21,703
商品及び製品	10,309	12,428
仕掛品	27,484	31,322
原材料及び貯蔵品	1,505	1,535
その他	4,354	4,479
貸倒引当金	△473	△479
流動資産合計	80,126	79,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,229	6,225
機械装置及び運搬具(純額)	1,032	1,207
工具、器具及び備品(純額)	3,432	3,209
土地	1,789	1,832
リース資産(純額)	687	535
建設仮勘定	292	265
有形固定資産合計	13,464	13,275
無形固定資産		
のれん	2,496	2,311
その他	536	477
無形固定資産合計	3,032	2,789
投資その他の資産		
投資有価証券	9,179	8,821
その他	3,179	3,092
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	12,351	11,907
固定資産合計	28,849	27,971
繰延資産	69	61
資産合計	109,045	107,836

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,064	18,681
短期借入金	11,143	8,674
1年内償還予定の社債	676	676
未払法人税等	354	214
賞与引当金	995	1,412
その他	15,881	17,796
流動負債合計	47,115	47,456
固定負債		
社債	5,386	5,448
長期借入金	12,594	11,191
役員退職慰労引当金	167	144
退職給付に係る負債	10,265	10,267
資産除去債務	332	332
その他	899	957
固定負債合計	29,644	28,341
負債合計	76,760	75,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,037	10,037
資本剰余金	9,386	9,386
利益剰余金	13,977	12,907
自己株式	△537	△538
株主資本合計	32,863	31,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,121	3,505
繰延ヘッジ損益	5	—
為替換算調整勘定	△1,519	△1,153
退職給付に係る調整累計額	△2,185	△2,106
その他の包括利益累計額合計	△578	245
純資産合計	32,284	32,038
負債純資産合計	109,045	107,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	44,436	40,699
売上原価	28,261	25,995
売上総利益	16,175	14,703
販売費及び一般管理費		
研究開発費	3,635	2,689
その他	13,404	13,326
販売費及び一般管理費合計	17,039	16,015
営業損失(△)	△863	△1,311
営業外収益		
受取利息	26	11
受取配当金	62	60
受託研究収入	55	33
為替差益	—	196
持分法による投資利益	104	129
貸倒引当金戻入額	23	10
その他	198	96
営業外収益合計	471	539
営業外費用		
支払利息	194	113
売上債権売却損	12	4
為替差損	922	—
その他	160	72
営業外費用合計	1,291	191
経常損失(△)	△1,683	△963
特別利益		
固定資産売却益	2	224
関係会社株式売却益	—	291
その他	0	—
特別利益合計	3	516
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	15	5
和解金	—	66
その他	1	—
特別損失合計	17	74
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,697	△521
法人税、住民税及び事業税	538	273
法人税等調整額	332	△63
法人税等合計	870	210
四半期純損失(△)	△2,567	△731
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,567	△731

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,567	△731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△161	384
繰延ヘッジ損益	11	△5
為替換算調整勘定	△775	355
退職給付に係る調整額	146	78
持分法適用会社に対する持分相当額	△367	11
その他の包括利益合計	△1,145	824
四半期包括利益	△3,713	92
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,713	92
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,697	△521
減価償却費	1,261	1,293
のれん償却額	184	184
賞与引当金の増減額(△は減少)	484	409
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	24	2
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△29	△24
固定資産除売却損益(△は益)	13	△217
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△291
受取利息及び受取配当金	△88	△71
支払利息	194	113
売上債権売却損	12	4
売上債権の増減額(△は増加)	4,855	5,673
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,010	△5,796
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,396	35
その他	△332	920
小計	△1,523	1,715
利息及び配当金の受取額	95	80
利息の支払額	△200	△115
売上債権売却による支払額	△12	△4
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△639	△306
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,281	1,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△671	△977
有形固定資産の売却による収入	30	633
無形固定資産の取得による支出	△62	△43
関係会社株式の売却による収入	—	946
その他	△1	223
投資活動によるキャッシュ・フロー	△704	782
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,012	△2,291
長期借入れによる収入	5,000	800
長期借入金の返済による支出	△4,163	△2,380
社債の発行による収入	2,468	397
社債の償還による支出	△325	△338
配当金の支払額	△338	△338
その他	△390	△235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△759	△4,385
現金及び現金同等物に係る換算差額	△718	401
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,464	△1,831
現金及び現金同等物の期首残高	11,717	9,420
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	721
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,253	8,310

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,073	6,099	9,264	44,436	—	44,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	29,073	6,099	9,264	44,436	—	44,436
セグメント利益又は損失 (△)	△980	1,257	1,012	1,289	△2,153	△863

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△2,153百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,153百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	理科学・計測 機器事業	産業機器事業	医用機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,831	5,307	8,560	40,699	—	40,699
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	26,831	5,307	8,560	40,699	—	40,699
セグメント利益又は損失 (△)	△1,549	1,334	902	687	△1,998	△1,311

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,998百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,998百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。